



ふくろい

市議会 だより

02
ページ

12月定例会の概要

04
ページ

市政に対する一般質問

12
ページ

常任委員会レポート



たこ揚げって楽しいな。「赤ちゃんクラブ」

1月15日に中央子育て支援センター「カンガルーのぼっけ」で赤ちゃんクラブが開催され、元気な赤ちゃんたちがお母さんと一緒に福笑いや絵馬づくり、たこ揚げなどの正月遊びを楽しんでいました。

12月定例会

新山梨幼稚園建設用地の 取得について可決

平成20年12月定例会は、12月2日から12月19日までの18日間の会期で開催されました。今定例会では、平成20年度一般会計ほか2会計の補正予算をはじめ、袋井市宇刈いきいきセンターをはじめとする公の施設の指定管理者の指定、(仮称)大日ほたるの里公園整備用地、新山梨幼稚園用地の財産取得など30議案と4件の報告、議員提出の1議案が上程され、採決の結果、いずれも原案どおり可決されました。

なお、市政に対する一般質問は、17人の議員が市長の見解をたしました。

条例

《制定》

●袋井市公共下水道区域外流入条例の制定について

下水道事業認可区域外隣接地からの公共下水道への流入申請に対応するために制定するものです。

《廃止》

●袋井市簡易水道事業給水条例の廃止について

簡易水道区域が上水道区域に統合されることから、簡易水道事業が廃止となることによるものです。

《改正》主なもの

●袋井市税条例の一部を改正する条例の一部改正について

個人住民税を公的年金から徴収する特別徴収制度の導入を1年延期することに伴い、適用年度の改正をするものです。

●袋井市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について

袋井市公共下水道全体計画の見直しにより、笠原地区を浅羽処理区へ取り込むとともに、諸井向イ地区を袋井処理区へ統合したことから、計画の見直しにあわせた処理区とするために改正をするものです。

●袋井市水道事業の設置に関する条例の一部改正について

上山梨第二土地区画整理事業の換地処分による町名変更や、簡易水道区域を上水道区域に統合することに伴い、給水区域及び給水人口等の改正をするものです。



月見の里学遊館と月見の里公園

一般会計補正予算

今回の補正予算は、主に次に掲げる事業のために7億6,460万円を増額するものです。これにより、平成20年度予算総額は302億8,460万円となりました。

●公有財産購入費(2億7,260万円)

市役所東側の旧100円ショップ及び北側の旧シューズショップの用地・建物の取得によるものです。

●新山梨幼稚園の用地造成費用(3,000万円)

新山梨幼稚園建設のための用地造成にかかる諸工事請負費です。

●二般職の給与・手当・共済費等(2億816万円)

主に、退職手当等の諸手当の増額によるものです。

その他(主なもの)

●袋井B&G海洋センターほか2施設の指定管理者の指定について

袋井B&G海洋センターほか2施設の指定管理者を、(株)サンアメニティに3年間指定するものです。

●袋井市民体育館ほか10施設の指定管理者の指定について

袋井市民体育館ほか10施設の指定管理者を、袋井市スポーツ協会グループに5年間指定するものです。

●袋井市月見の里学遊館ほか1施設の指定管理者の指定について

袋井市月見の里学遊館ほか1施設の指定管理者を、袋井市文化協会グループに3年間指定するものです。

●財産の取得について

(仮称)大日ほたるの里公園整備用地及び新山梨幼稚園建設用地を取得するためのものです。

◆掛川市・袋井市新病院基本構想を了承

袋井市議会は、平成20年12月24日に開催された全員協議会において掛川市・袋井市新病院基本構想を了承しました。

寺井 紗知子 議員

「初期支援教室」の設置は必要

Q 問 はじめて小中学校へ就学する外国人児童生徒を対象に、学校教育で必要な生活指導や初歩的な日本語指導を集中的に行う取り組みについて伺う。

A 答 現在、初期支援教室を開設する必要性が生じている。その場所や人的配置など、設置に向けて検討を進めており、できるだけ早い段階で開設できるよう考えている。

デマンド型乗り合いタクシーの導入はどうか

Q 問 市民サービスの向上と効率的な運行が可能と思うが、モデル地区を設定し、実証運行する考えは。

A 答 デマンド型運行は、長所もあるが、欠点も多くある。見直しの中では、本市の現状にはそぐわないという結論に至った。自主運行

バスについて最小の経費で最大の効果が得られるよう年度末までに結論を出したい。

袋井市民病院の24時間院内保育はどうか

Q 問 看護師などの働きやすい環境整備、また人材確保としても必要ではないか。

A 答 24時間保育体制については、費用や施設などの課題もあるので、具体的な運営方法、潜在需要がどのくらいあるのかなどの点も含め研究をしていきたいと考えている。



袋井市民病院の院内保育所

戸塚 文彦 議員

「米」利用の新たな可能性を追求すべきでは

Q 問 減反対策として米粉や飼料用米の活用、袋井産米の輸出促進を検討すべきと考えが。

A 答 助成制度を活用するとともに、他の産地との差別化を図っていききたい。輸出促進については、水田農業推進協議会で検討してもらおうようお願いしたい。

英語よりもまずは日本語の習得が必要では

Q 問 2011年度から「外国語活動」が必修化される。国語授業のこれまで以上の指導充実を望むが。

A 答 新学習指導要領では、国語科の授業数がふえることとなっている。本市で行っている読書活動をより推進し、他教科でも言語活動が重視されるよう各校に指導している。

掛川市西部循環バスのJR愛野駅乗り入れは再度検討すべき

Q 問 一旦白紙撤回か、公共交通会議を袋井市でも開催する考えはあるか。

A 答 掛川市の地域公共交通会議で協議すべきものと考えており、本市で開催する必要はないと判断している。市民が可能な限りいろいろな選択肢を持った方がいいと考える。



掛川市西部循環バスが乗り入れされるJR愛野駅

市政に対する一般質問

よりよいまちづくりを目指して



佐藤 省二 議員

新病院建設後の現病院のあり方は

Q 年間14万5千人も利用している外来の安心を約束するために、外来診療施設として存続する事が不可欠であると思うが。

A 新病院との機能分担を明確にして、保健・医療・介護等を含めた福祉等を総合的な視点から位置付けをした総合健康センターのようなものを検討していきたい。

(仮称)大日ほたるの里公園でほたるの繁殖を

Q 大日の公園予定地には水田がある。沢水や雨水を貯留し、せせらぎができれば、ほたるの育成が可能であると思うが、どうか。

A 井戸水を利用したせせらぎを計画している。ほたるの繁殖しやすいような環境に配慮したせせらぎづくりをしていきたい。

山梨中央通り線、袋井駅森線の整備促進を

Q 新山梨幼稚園建設に伴う道路整備を早急に進めるべきだと思うがどうか。

A 道路整備10箇年計画で位置づけており、県へ整備の要望をしている。地元の検討状況を踏まえて引き続き要望していきたい。



山梨中央通り線 (JA山梨支店北側付近)

芝田 禮二 議員

国内景気の現状に対する対策は

Q 景気悪化による市内企業の現状と失業対策は。また、「緊急総合経済対策本部」の設置や法人市民税の減収の影響は。

A 庁内関係部署から組織する「緊急総合経済対策本部」の設置をはじめ、国・県との連携により支援体制の強化を図る。法人市民税は、当初予算の20%程の減額が予想される。

森町との合併の考えは

Q 森町長の「新東名開通後の合併」発言に対する市長の基本的考えは。

A 同じ生活圏を持つ森町とは連携が必要である。合併は順序として、先に森町民全体の意志決定が重要であると考えている。

市民病院の今後の利活用は

Q スタッフの確保と現病院建物の利活用はどの様に考えているのか。

A 新病院との整合を図り、地域の保健、医療、介護等を総合的に判断し、総合健康センター的機能を持つ施設が望ましいと考える。



袋井市民病院

高橋 美博 議員

道路・橋梁アセットマネジメント導入の考えはないか

Q 問 これからは道路の建設だけでなく、維持管理に重点を置き、総額で節約する視点が大事となる。点検の実施とそのデータ蓄積はどのようになっているか。

A 答 道路等の点検は、昨年度幹線道路を中心に舗装面の調査を実施した。このデータをもとに、舗装、補修、緊急度を4段階に分け、舗装補修計画を策定した。今後は、傷む前に直す予防的な対応で長寿命化やコスト縮減を図り、計画的に予算措置をしていきたい。

Q 問 舗装の本格改修などの判断とその予算化はどうか。

A 答 交通量の増加や舗装面の劣化により、舗装面がカメの甲羅状になり、穴があいてしまう箇所が多く見られる。これらについては、局部的な補修を行うとともに、舗装

補修計画に基づき本格的補修を実施している。

Q 問 橋梁カルテ作成のため、橋梁診断実施の考えがあるか。

A 答 どの橋梁をいつどのように修繕するかをまとめるためのものであり、修繕していく上で必要な作業のため、実施していきたい。



道路補修工事の様子

伊豫田 貞雄 議員

市税等収入未済額整理に向けて

Q 問 市税等収納対策本部による滞納推進月間の成果は。

A 答 11月10日～28日に全庁挙げて滞納整理を実施した結果、対象金額1億4,140万円の40.8%に当たる5,760万円の成果があった。

高齢者福祉タクシー導入の考えは

Q 問 自主運行バス空白地に高齢者福祉タクシー導入の考えは。

A 答 福祉タクシー制度は、該当する人としていない人との区分けが難しく、不公平な面が出ることもある。このため、自主運行バスの継続を現時点での結論にしているが、現状十分な効用を果たしているとはいえず、何らかの是正が必要と考えている。

保育所新設の構想は

Q 問 待機児童解消に向け保育所新設の構想はどう考えているか。

A 答 新設保育所については、建設場所は袋井北地区、定員は120人程度を想定している。平成22～23年度で設計・建設をし、平成24年度の開園を目指しており、民営を想定している。



自主運行バス「フーちゃん号」

浅田 二郎 議員

合併してよかったと思えるまちづくりはどうなった

Q 問 旧浅羽町の多くの方が、「負担は低く」の合併の約束が守られず、「合併して悪くなった」と感じられているが。

A 答 合併後に実施したサービスもあり、やむを得ず負担をお願いすることになったものもある。市政運営の推進には市民との対話が重要であると考えている。積極的に話し合いを進めていきたい。

Q 問 さらに負担増となる都市計画税を、新たに浅羽地域にも課税するつもりか。

A 答 都市計画事業を計画的に推進するために必要なことであり、旧袋井市では既に実施をしているので、公平性という観点からも理解をいただきたい。

全ての高齢者にインフルエンザ予防接種の助成を

Q 問 一部医療機関での高齢者インフルエンザ予防接種に助成がない状況が、いまだに続いている。なぜ改善されないのか。

A 答 予防接種事業は、磐周医師会と袋井市医師会と契約を結んでいる。この契約を結んでいる医療機関で接種を受ければ、助成の該当となる。今後もこの医療機関で受診するよう周知を図り、不公平が生じないように対応していきたい。



浅羽支所周辺

広岡 宥樹 議員

文化力向上をめざし、文化都市にふさわしい会館、資料館の建設を

Q 問 一流の舞台芸術、音楽等に接し得る会館と全市的な郷土資料館の建設はどうか。

A 答 月見の里学遊館とメロープラザで、十分にその機能を果たし得ると考えている。
また、郷土資料館については、財政的な裏づけが得られた時点で検討していきたい。

太陽光発電システム導入に新たな助成制度を

Q 問 家庭用太陽光発電設備に国を上回る市独自の助成制度をつくることはどうか。

A 答 太陽光発電を利用していくことは大変有意義なことであると考えてるので、助成制度拡充について、検討していきたい。

雇い止め、契約打ち切りで職・住ともに失う労働者への対策を

Q 問 職・住ともに失う市民救済の用意は。

A 答 緊急経済対策本部を設置して、関係の団体と連携をとりながら、一人一人の事情について適切なアドバイス、対応ができるよう努め、県や国へも必要な働きかけをしていきたい。



住宅に設置された太陽光発電

杉井 征夫 議員

定額給付金支給の準備体制は

Q 問 給付金の支給対象、支給方法、支給時期の準備体制と問題点は。

A 答 対象者の調査方法、給付方法や財政措置など、多くの課題がある。実施概要素案では、所得制限を基本的に設けないこと、申請の手続きは郵送、支給の方法は口座振り込みを原則としている。この素案を準備体制の基本とすることを考えている。

山科東工業団地の売却見通しと道路整備

Q 問 売却見通しと接続道路の整備促進の考えはあるか。

A 答 経済の先行きが不透明ではあるが、インフラの優位性などをPRし、優良企業の立地に向け積極的に誘致活動をしていきたい。また、接続道路の整備を促進していきたい。

川井西地区の土地利用と道路整備

Q 問 この地域の道路整備の計画はあるか。又、松橋川の橋の架け替えと木原地区への接続道路の整備の考えはあるか。

A 答 現在道路整備の計画はないが、道路整備10箇年計画の時期見直しに当たって、地元の合意状況を見据えた中で位置づけをしていきたい。



川井西地区

久野 松義 議員

世界と日本経済は減速している

Q 問 平成20年度の法人市民税は、予算額の確保ができそうか。

A 答 当初予算に比べおよそ20%足りない。足りない部分を現時点では個人市民税、あるいは固定資産税の税收によってその補てんができればと考えている。

Q 問 平成21年度の法人市民税の収入見込み額はどの位か。

A 答 平成20年度の予算見込額に対して決算見込み額は約20%マイナスとなり、来年1年間はさらに10%の減収になるのではないかと考えている。したがって今年度の予算額に対して30%落ちる見込みとなる。

地方自治体財政健全化法の対応はどうか

Q 問 市の指標数値が上限範囲内にあり、これからどのような財政運営をしていくのか。

A 答 実質公債比率が、25%を超えると早期健全化団体となるが、当市は12.8%と数値が低くなっている。これは起債償還額から都市計画税を控除できるように算定方法が変わったことにより、救われている面もあるので、今後とも注意をしていきたいと考えている。



税務課の窓口

寺井 雄二 議員

学校(園)ではいじめは発生していないのか

Q 問 いじめ問題はいっこうに無くならない。本市ではいじめはないのか。

A 答 小・中学校で合計14件の報告を受けている。今後も、いじめは絶対許さないという姿勢を持ち、すべての子供たちが楽しく安心して学べる園、学校づくりに努めていきたい。

安定した農業経営ができるよう担い手対策をどのように支援するのか

Q 問 将来の担い手問題についてどのように育成計画がたてられているか。

A 答 より安定した収益を上げ、魅力ある農家に育成するため、ハード、ソフト両面における支援に努めていきたい。

JR愛野駅南歩道及び広場の雑草対策はこれでよいのか

Q 問 JR愛野駅は袋井市の東の顔である。歩道広場の雑草対策について管理責任者の市はどのように考えているか。

A 答 道路愛護という観点から地元の方にも御理解・御協力をお願いしたい。しかし市が管理者なので、草の状況によっては対応していきたい。



収穫に向けた農作業風景

高木 清隆 議員

駅前観光案内所を拡張すべきでは

Q 問 地域住民と来訪者が交流する要所として情報の交流点の役割を果たせる施設となりえる拠点が必要と考えるが。

A 答 拡張するためには、メリットもあるが、経費もかなりかかる。コストの問題、将来的なものを考え、観光協会とも検討していきたい。

中心市街地活性化基本計画(案)を再検討すべきでは

Q 問 地域における過去の事情、現在の実情に一番詳しいのは、そこに住む人々であることから、地域に住む人々の意志が十分反映された計画への取り組みが必要と考えるが。

A 答 中心市街地の活性化と、にぎわいの基本を考え、地元にも参加をしていただき取り組んでいきたい。

地元で頑張る中小企業に対する優遇助成制度の策定に取り組むべきでは

Q 問 地元の中小企業が持つ、自らの独自の技術を生かした新たな事業展開に対し、市独自の認定制度と支援措置制度を制定し、支援する考えは。

A 答 先進事例を参考にしながら、商工会議所、市内の企業と意見交換等をして研究していきたい。



駅前観光案内所

竹原 和義 議員

法定外公共物の維持管理は

Q 問 法定外公共物（赤道・青線等）の雑草や立木の伐採は適正に「維持・管理」されているのか。

A 答 草刈りなどの日常的な管理は、地元をお願いしているが、通行に支障となる場合や危険である場合などは、市で対応をしている。

「保育ママ制度」の採用予定は

Q 問 この制度は、障害児や食物アレルギー乳幼児には、有意義な制度である。制度の活用は。

A 答 この制度は、公的なベビーシッターであるが、制度が厳しく、活用しにくいのが現状である。制度が緩和されれば積極的に取り組んでいきたい。

ペットのふん公害対策は

Q 問 公園等でふんを放置すると「犬回虫」の寄生虫が発生する可能性がある。注意書き看板の設置予定はあるのか。

A 答 ふんの持ち帰りを啓発する看板は、各所に設置している。注意書き看板の設置は、公園内の利用状況等を踏まえた中で検討していきたい。



公園に設置されているふんの持ち帰り啓発看板

山本 貴史 議員

鳥居信平氏の功績について市として顕彰すべきでは

Q 問 台湾で評価の高まる郷土の偉人、鳥居信平氏の功績をどう考えるか。

A 答 袋井市民として大変誇りに思っている。ふるさとゆかりの偉人の1人として、この業績をより評価し、また広めていきたいと考えている。

景気悪化による課題と対策は

Q 問 特殊な技術やアイデアを持つ中小零細企業の保護や誘致も検討すべきでは。

A 答 企業訪問を実施し、経営の状況や企業からの要望等の把握に努めている。策定中の工業振興計画でも企業の支援対策等について検討していきたい。

災害即応パートナーズとの防災訓練の評価と取り組みは

Q 問 災害即応パートナーズと行った12月7日の防災訓練の評価と今後の取り組みは。

A 答 大変実践的で効果的な訓練をすることができ、手本となるものであったと考えている。今後はNPO団体などの受け入れが容易にできるようにしていきたい。



12月7日に行われた防災訓練

戸塚 和 議員

元気な農業 豊かな地域に

Q 問 地域の特色を生かした特産品作りと活性化支援は。

A 答 転作作物としてタマネギ、黒大豆、白ネギなど特定作物の栽培を推進し、安定した農業経営ができるように支援している。

Q 問 地域の担い手の育成・確保と規模拡大に全力を。

A 答 効率よく農業経営を行うために、圃場をできる限り1カ所に集積することが求められる。面的な集積を行うためには、調整組織を立ち上げる必要があるので、要望があった段階で対応をしていきたい。

Q 問 悪臭公害の出ない畜産完熟堆肥の推進と有機栽培への投入PRを。

A 答 高品質化にあたって、良質な有機堆肥製造施設への利用助成などの支援に努めてきた。今後は、さらに、堆肥の高品質化に向けて、県や静岡理工科大学などの支援を仰ぎながら指導していきたいと考えている。また、畜産堆肥を散布する農作業機械の導入に対する助成制度や低利な農業融資資金制度については、支援に努めていきたい。



浅羽地域の田園地帯

廣岡 英一 議員

大きな変わり目にある「まちづくり」の基本軸とは

Q 問 景気の下降で、財源不足と事業の執行が憂慮される。計画されている事務事業をどんな基準で見直すのか。

A 答 収支を保った上で、国の景気対策や補助金の関係を総合的に考慮しながら、市民生活を守るためと、財源の効率性を基本に見直していきたい。

Q 問 協働まちづくりの指針によれば、協働の最終的な成果は「市民主体のまちづくりの実現」とある。市長が描く「官民協働まちづくりの姿」とは何か。

A 答 官民協働まちづくりとは行政と市民活動団体が対等なパートナーとしてお互いに協力して目的達成に向けて取り組むことであると考えている。

Q 問 21世紀のまちづくりは、ハードからソフトへ、行政主導から住民主導へ軸足を変えていくべき、と考えるがどうか。

A 答 ハードは将来的に必要な最小限のものとし、ソフトとうまく組み合わせ、その中に市民の声を入れながら市政運営をしていきたいと考えている。



協働まちづくりセンター「ふらっと」

大場 正昭 議員

30人学級の実現を

Q 問 子供たちや家庭を取り巻く環境は、日々変化している。生徒の希望する進路実現に向けて、きめ細かい指導が必要となる。中学3年生に30人学級を導入する考えは。

A 答 この制度を導入した場合、現状に比べ7学級の増となる。本市で負担することとなる教員の人件費など相当の経費が必要になってくる。今後も、現状どおり40人学級を基本としていきたい。

健康づくりのさらなる充実を

Q 問 市民のさらなる健康的な生活習慣の定着を目指す上で、公民館単位に看護師、保健師を配置してほしいがどうか。

A 答 常設の保健師等の配置は組織運営上難しい面もあるので、来年度からは、地区担当保健師や、市が要請している運動リーダーなどで構成する(仮称)地域健康推進チームを特定の地区でモデル的に立ち上げ、地域による地域のための健康づくり事業が展開できる保健体制づくりに取り組んでいきたい。



袋井西公民館で行われた公民館保健室



常任委員会レポート

平成20年度一般会計・特別会計の補正予算などの議案を各常任委員会で審査しました。



市が取得した旧100円ショップ

旧100円ショップは、現在の施設を改修し、市役所の分庁舎的な施設とし、会議室や市民ギャラリーなどになりたい。旧シューズショップ跡地は、防災機能を持たせるなど、今後、両施設は本市のまちづくりの拠点となるよう検討する。

※この案件については、整備計画の報告・利活用の明確化、十分な説明の3点について付帯決議がなされました。

市役所に隣接する旧100円ショップと旧シューズショップの跡地の利活用はどう考えるか。

総務文教委員会

学遊館の持つ様々な機能について、4つの事業者の連携により、これまでの機能や運営を継承し、文化のまちづくりの推進拠点として充実させたい。月見の里公園についても、これまでどおり地域住民の積極的な支援をいただきたい。

月見の里学遊館は、指定管理者による運営となるが、どのように変わるのか。

総務文教委員会



袋井市民体育館

指定を受けた袋井市スポーツ協会グループ内の会社では、他市の指定管理者として庭木管理を直接やっている実績もあるが、今回の提案では地元への配慮から庭木管理については市内の業者への委託に対応することになっている。

今回、袋井市民体育館ほか10施設の指定管理者として指定しようとする応募者は、樹木・庭園の管理を自分たちで直接やれるのか。

民生福祉
委員会

派遣労働者のリストラ、高齢者・傷病世帯関係の相談が多くなっている。本年9月～11月の相談件数は41件で、そのうち3件が生活保護の開始に至っている。

生活保護の相談は、どのような内容が増えているか。また、相談から生活保護開始に至る割合はどのくらいか。

民生福祉
委員会



合併処理浄化槽

※特定集団推進地域浄化槽設置事業とは、公共下水道全体計画区域外で、新たに集団で5基以上（付替え1基以上含む）の合併処理浄化槽の設置・付替えを行う者が特定集団地域として指定された場合に、通常の補助金に加え上乗せされる制度。

三川の川会地区で13件、萱間地区で10件の合計23件であった。宇刈地区も対象となっているが、平成20年度の実績はなかった。

特定集団推進地域浄化槽設置事業について、三川地区で補助金の申請実績があったとのことだが、それ以外の地区でもあったのか。

建設経済
委員会

浅羽水田たまねぎ栽培研究会が、転作作物としてたまねぎの栽培を始め、この実績から特産品として推進していきたいと考えているため、市としても支援していきたい。

農地流動化総合対策事業について、取り組みに至った経過と市の考え方はどうか。

建設経済
委員会

2月定例会のお知らせ・意見書 ほか (平成21年から2月に定例会を開会することとなります。)

意見書 (要旨)

事故米対策強化に関する意見書

農林水産省が転売した農薬やカビで汚染されたミニマムアクセス米が、米穀加工販売会社「三笠フーズ」で発覚し、「事故米」の食料への転用は、おにぎり、和菓子、焼酎、せんべいに加工作され、学校給食や老人施設にも転売された。

これが、今日、食の安全・安心・信頼を求める国民世論に反し、国民の命と健康に関わる重大な社会問題となっている。

不正規流通を繰り返した企業に対しては、断固とした措置がとられるべきである。また、甘い検査であったがために、不正規流通を見逃した国の責任も重大と言わざるを得ない。

有識者会議の調査報告書を厳正に受け止め、「食の安全」を最優先とする意識改革と業務運営を求める。

よって、国においては、食の安全・安心の再構築と国民の信頼確保のため、事故米不正規流通の徹底説明を進め、検査体制を強化するとともに、米流通システムの再構築など再発防止を確立することを強く要望する。

衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣あてに提出しました。

2月定例会は次のとおり行う予定です。

【場 所】 市役所5階議場または各委員会室

【時 間】 午前9時から(2月定例会の最終日については、午後1時30分からを予定しています。)

【日 程】 2月 23日(月) 開会、議案の説明

3月 3日(火) 市政に対する一般質問

4日(水) 市政に対する一般質問

5日(木) 市政に対する一般質問

9日(月) 議案の審査(常任委員会)

10日(火) 議案の審査(常任委員会)

11日(水) 議案の審査(常任委員会)

12日(木) 議案の審査(常任委員会)

19日(木) 委員長報告～採決、閉会

あなたも議会を傍聴してみませんか

当日、受付をしますので、市役所5階の議会事務局までお越しください。

議場のバリアフリー化を目指し、段差解消機及び車イス優先の傍聴スペースを設置しています。また、耳の聞こえにくい方には、赤外線補聴システムを利用した補聴器を用意しています。

※足の不自由な方、妊婦の方なども段差解消機を利用し傍聴席へ入れます。
※赤外線補聴システム、段差解消機をご利用の際には、議会事務局へ声をおかけください。



市ホームページへアクセス!

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

市議会のライブ中継を行っています



インターネット中継ページ

より開かれた市議会を目指し、定例会、臨時会の本会議ライブ中継を行っており、市議会ホームページでご覧いただけます。なお、市ホームページからインターネット中継ページへの移動方法は右のとおりです。



クリック!



クリック!

クリック!

会議録が検索できます



会議録検索ページ

本会議の会議録が、キーワードなどを入力することにより、見たい箇所が簡単に検索できます。なお、市ホームページから会議録検索ページへの移動方法は左のとおりです。

ふくろい
市議会
だより

NO.19

発行/静岡県袋井市議会
発行日/平成21年2月1日

〒437-8666 袋井市新屋1丁目1番地の1
TEL.(0538)44-3143(直通) FAX.(0538)44-3148
ホームページ <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
メールアドレス gikai@city.fukuroi.shizuoka.jp



ソインキ(大豆油インキ)を使用しています。

12月議会も18日間の会期で開催され、市政をたたくため17名が演台に立ち活発に一般質問が行われました。このことは、一人一人課題をもつての展開であり、日頃より市民の目線での議員活動の結果ではないかと感じました。これから、市民に開かれた市議会を目指してまいりたいと思います。

編集後記